

著述稿本類

番号	名称	材質形状	員数	年代	作成者	法量	料紙	丁数	備考	管理番号
1	唐絶新選	袋綴装 四ツ目綴	1冊	文化7年	頼山陽	22.3×16.3	楮紙	27	後補浅葱表紙, 序「自序 文化庚午八月頼襄題」, 白文長方印「必正樓」1顆, 返点(朱), 校訂(朱), 句切点(朱)	Ⅲ-30
	韓使関係詩文稿								紙縫にてⅢ-73-1~4を合綴	Ⅲ-73
2	1) [韓使関係詩文稿] (「六月廿一日客館唱酬」ほか)	仮綴	1綴	(文化8年)		24.4×17.0	半紙	6	端書(頼山陽筆)『一』, 句切点(朱), 校訂(墨), 不審紙あり	Ⅲ-73-1
2	2) [韓使関係詩文稿] (「贈李太華」ほか)	仮綴	1綴	(文化8年)		28.0×19.2	罨紙(楮紙)	7	端書(頼山陽筆)『二』, 句切点(朱・墨), 校訂(墨), 右上端破損	Ⅲ-73-2
2	3) [韓使関係詩文稿] (「席上呼韻二首」ほか)	仮綴	1綴	(文化8年)		28.5×20.2	楮紙	7	端書(頼山陽筆)『三』, 句切点(墨), 校訂(墨), 各丁ウ左下に順に「八」「九」「一」「二」「三」「四」「五」の記載あり(錯簡・落丁あり)	Ⅲ-73-3
2	4) [韓使関係詩文稿] (「奉贈朝鮮李学士案下序」ほか)	仮綴	1綴	辛未(文化8年)之冬		25.5×17.4	半紙	9	奥書(頼山陽筆)『辛未之冬, 伝観此卷分命門生数人謄写, 罨之広狭与字之大小聞不相謀也, 猶和人与韓人雜居一堂, 其言貌雖大異, 其意則未嘗不通觀者怒焉, 山陽外史識』, 端書(頼山陽筆)『四』, 句切点(墨), 校訂(墨), 注記(墨), 各丁オ右下に順に「い」「ろ上」「は」「に」「ま」「へ」との記載あり, 不審紙あり	Ⅲ-73-4
3	『日本政記』織田制刑豊臣変田制論	状	1通	(天保3年)十月廿七日	章(関藤藤陰)拜	24.8×34.2	半紙		首題「織田制刑豊臣変田制論」, 端書(関藤藤陰筆)「山陽先生病中九月三日价, 是日先生下知二行気力頓落, 廿三日午後令章淨録, 時先生大漸盖自知其将易簣而命之也, 十月廿七日痛哭再録呈令嗣事斎君表次 章拜」	I-118
4	『通議』内廷篇	袋綴装 大和綴	1冊	(天保3年)		24.8×17.3	半紙	3	首題「内廷」, 頼山陽校訂(朱), Ⅲ-31-3と同筆カ	I-117
	山陽翁文集	袋綴装 大和綴	1冊			25.0×17.5	半紙	41	Ⅲ-31-1~5を合綴, 後補素紙表紙, 外題直書(頼成一筆)「山陽翁文集」	Ⅲ-31
5	1) 登登行菴記	仮綴	1綴	文化5年	(頼山陽カ)	25.0×17.5	半紙	2	首題「登登行菴記」, 跋「文化戊辰六月晦, 阿岐頼襄撰」, 校訂(墨), 1丁目オの「襄」を「予」に訂正	Ⅲ-31-1
5	2) [「刻陶説序」ほか写]	仮綴	1綴	江戸後期		25.0×17.5	半紙	12	校訂(墨), 注記(付紙に墨)	Ⅲ-31-2
5	3) 論内廷	袋綴装 大和綴	1綴	(天保年間カ)		25.0×17.5	半紙	3	首題「論」, 「内廷」, 校訂(墨), 注記(朱), I-117の校訂を反映, 1丁目オ「内廷」の上に「論」字を追記, I-117と同筆カ, 3丁目ウに『大活眼妙』との記載あり	Ⅲ-31-3
5	4) 論内廷	仮綴	1綴	江戸後期	(頼誠軒カ)	25.0×17.5	半紙	3	首題「論内廷」, 校訂(朱), I-117と異筆, Ⅲ-31-3の写シカ	Ⅲ-31-4
5	5) [「耶馬溪記」ほか写]	仮綴	1綴	江戸後期		25.0×17.5	半紙	19	校訂(墨), 注記(墨), 傍点(墨), 傍線(墨), 橋本竹下本の草稿(方角の訂正あり)の写し, 一部丁数の記載あり	Ⅲ-31-5
6	やしなひ草	袋綴装 四ツ目綴	1冊	寛政5年	(頼春水)	21.0×13.0	楮紙	14	共紙表紙, 外題直書「やしなひ草」, 首題「やしなひ草」, 表紙墨書「寛政五年癸丑正月 御十代齊賢公へ孚希宮様御婚礼ノ節御内命ニ付差上候ひかへ」, 校訂(朱・墨), 後補唐紙表紙(頼古模筆)「やしなひ草」	Ⅲ-67
7	[頼春水詩稿] (秋色詩卷)	続紙	1巻	享和2年	(頼春水)	24.5×176.0	罨紙(半紙)		朱文長方印「春水」1顆, 朱文方印「惟」「完」(連印)1顆, 校訂(墨), 校訂(墨)	Ⅲ-108
8	在津紀事 上	袋綴装 大和綴	1冊	文化7年	頼春水	26.8×18.4	美濃紙	33	共紙表紙, 外題直書「在津紀事 上」, 首題「在津紀事 上」, 序「惟完帰住本府已三十年 追懐津上遊寓之事多少興致 于今不忘時又話及児輩自旁録之作在津紀事文化庚午十月識」, 白文方印「世事問惟完」1顆, 返点(墨), 校訂(墨), 注記(墨), 仮名(墨), 合符(墨)	Ⅲ-74-1
9	在津紀事 下	袋綴装 大和綴	1冊	(文化7年)	頼春水	26.8×18.4	美濃紙	34	共紙表紙, 外題直書「在津紀事 下」, 首題「在津紀事 下」, 白文方印「世事問惟完」1顆, 返点(墨), 校訂(墨), 注記(墨)	Ⅲ-74-2
10	咏物詩	袋綴装 大和綴	1冊	江戸後期	(頼春水カ)	20.5×14.2	美濃紙	16	共紙表紙, 外題直書「咏物詩」, 校訂(墨)	Ⅲ-41

著述稿本類

番号	名称	材質形状	員数	年代	作成者	法量	料紙	丁数	備考	管理番号
11	竹館小録	袋綴装 大和綴	1冊	江戸後期	(頼春水)	23.8×17.0	半紙	22	共紙表紙, 外題直書「竹館小録」, 首題「竹館小録」, 朱文長方印「頼」1顆, 校訂(墨), 1丁目袋中に「合符」と記載のある2紙(14.5×4.9, 9.0×4.3, 楮紙)挟込	III-68
12	監古録	袋綴装 大和綴	1冊	江戸後期	(頼春水)	27.6×19.5	美濃紙	14	仮表紙(頼古楳筆)「春水翁未完成著書 監古録」, 朱文長方印「頼氏必正楼」1顆, 注記(墨)	III-69
13	[師友志稿本]	仮綴	1綴	江戸後期	(頼春水)	16.3×28.0	中杉原紙, 雁皮紙, 美濃紙(黄染・萌黄・浅葱・薄紅・朱色)	20	校訂(墨), 書簡反古紙使用, 下部に師友別に番号を付した付箋あり	III-78
14	書画譜略(自上古至唐)	袋綴装 大和綴	1冊	江戸後期	(頼春水)	22.5×16.1	罫紙(楮紙)	15	素紙表紙, 外題直書「書画譜略 自上古至唐 画家伝」, 首題「略書画譜 自上古至唐」, 表紙墨書「十四丁」, 朱文長方印「頼」1顆, 注記(朱・墨), 校訂(朱[頼春水筆]・墨), 「佩文齋書画譜略(頼春水校閲, 浪華書林松根堂発兌)とは内容が異なる	IV-491-1
15	書画譜略(宋元明部 画家伝)	袋綴装 大和綴	1冊	江戸後期	(頼春水)	24.6×17.1	罫紙(楮紙)	52	素紙表紙, 外題直書「書画譜略 宋元明部 画家伝」, 表紙墨書「五十二丁」, 朱文長方印「頼」1顆, 注記(朱・墨), 校訂(朱・墨)	IV-491-2
16	書画譜略(宋元明部 書家伝)	袋綴装 大和綴	1冊	江戸後期	(頼春水)	24.3×17.0	罫紙(楮紙)	62	素紙表紙, 外題直書「書画譜略 宋元明部 書家伝」, 表紙墨書「六十一丁」, 同・朱書「初校一通了」, 朱文長方印「頼」1顆, 注記(朱・墨), 校訂(朱・墨), 30丁目オに付紙「月迄字画吟味尽引へ写ス慶ヨリ御校訂可被成候」	IV-491-3
17	[遊洛記草稿]	袋綴装 大和綴	1冊	安永9年	(頼梅颯)	24.8×17.5	半紙	17	批正(朱), 校訂(墨・貼紙に墨), 注記(墨), 頼梅颯墨書の紙片(三楮紙・半紙・杉原紙, 校訂用の貼紙)10枚付属	III-66
	[頼聿庵詩稿]								III-255-1~3を合冊	III-255
18	1)乙酉稿	袋綴装 大和綴	1冊	文政8年	(頼聿庵)	23.6×16.4	罫紙(楮紙)	7	素紙表紙, 外題直書「乙酉稿」, 朱文方印「頼協之印」1顆, 白文方印「頼」「協」(連印)1顆, 頼山陽批正(朱), 句切点(朱), 傍点(朱), 見返に漢詩二首記載	III-255-1
18	2)乙酉稿・丙戌稿	袋綴装 大和綴	1冊	文政8年, 文政9年	(頼聿庵)	24.5×15.6	半紙	8	共紙表紙, 外題直書「乙酉稿 秋冬以下文政八年 丙戌稿 文政九年 新齋主人」, 朱文方印「守口口餅」1顆, 白文方印「頼協」1顆, 頼山陽批正(朱), 句点(朱), 傍点(朱), 注記(朱)	III-255-2
18	3)丁亥稿	袋綴装 大和綴	1冊	文政10年	(頼聿庵)	24.5×15.5	半紙	8	共紙表紙, 外題直書「丁亥稿 文政十年 新齋主人」, 朱文方印「守口口餅」1顆, 白文方印「頼協」1顆, 頼山陽批正(朱), 校訂(墨)	III-255-3
19	聿庵文稿(「山水軒記」ほか)	袋綴装 大和綴	1冊	文化11 ~13年	頼聿庵	24.5×17.2	罫紙(半紙)	23	素紙表紙, 外題直書「聿庵文稿」	III-269
20	[頼聿庵詩稿](「春夜典客飲酒杏花下」ほか)	袋綴装 大和綴	1冊	天保3年	(頼聿庵)	21.6×16.3	楮紙, 罫紙(楮紙)	67	共紙表紙, 外題直書「詩稿 是巻不詳干支 新齋主人」, 頼山陽批正(朱・墨), 頼春風・頼杏坪批正(朱), 句切点(朱), 不審紙あり	III-273
21	頼聿庵詩稿	袋綴装 大和綴	1冊	江戸後期	(頼聿庵)	24.8×17.5	罫紙(半紙)	14	素紙表紙, 外題直書(頼楳厘筆)「詩稿」, 表紙墨書「星降光欄々処」, 批正(朱), 裏表紙「堀小一郎」	III-256
22	帰省稿	袋綴装 四ツ目綴	1冊	江戸後期	(頼聿庵)	24.5×17.6	罫紙(半紙)	5	後補厚紙表紙, 外題直書「山陽先生帰省稿 附詠史」, 首題「帰省稿」, 表紙墨書「松廬蔵」, 「聿庵先生写」, 「文政十二年己丑也 五十才」, 原作者は頼山陽	IV-246
23	山陽大人詩稿	袋綴装 四ツ目綴	1冊	江戸後期	頼聿庵	24.6×17.4	罫紙(半紙)	70	素紙表紙, 外題題簽「山陽大人詩稿」, 首題「山陽大人詩稿 外宮原生常太所寄数首改内 追録」, 表紙墨書「通計六十葉」, 「協敬録」, 校訂(墨), 注記(墨), 裏表紙紙背墨書「山陽大人雑詩(協謹蔵)」, 「通計葉卅一枚」	IV-355-1
24	[山陽翁詩稿]	袋綴装 四ツ目綴	1冊	江戸後期	(頼聿庵)	25.2×17.6	罫紙(半紙) ・半紙	67	素紙表紙, 校訂(墨)	IV-355-2
25	遊芸日記	袋綴装 大和綴	1冊	江戸後期		25.0×17.3	半紙	18	共紙表紙, 外題直書「遊芸日記」, 句切点(朱), 校正(朱), 仮表紙(頼古楳筆)「茶山先生著 遊芸日記」, 同・朱文長方印「頼氏必正楼」1顆, 原著者は菅茶山	III-72

著述稿本類

番号	名称	材質形状	員数	年代	作成者	法量	料紙	丁数	備考	管理番号
26	遊石稿	袋綴装 大和綴	1冊	安永六年 夏四月望	頼杏坪	24.7×17.1	半紙(匡郭)	23	素紙表紙, 外題題簽「遊石稿」, 首題「遊石稿」, 序「安永丁酉五月望後, 寡兄惟寛書于浪華春水南軒, 跋「葛張」, 奥書「安永六年夏四月望 竹原万四郎頼惟柔書」, 黒文長方印「頼」1顆, 句切点(朱), 校訂(墨), 表紙付箋「遊石」, 不審紙あり, 後補厚紙表紙(頼古椽筆)「杏坪翁著 遊石稿」, 朱文長方印「頼氏必正楼」1顆	Ⅲ-46
27	[天明三癸卯年秋東行詩]	袋綴装 四ツ目綴	1冊	天明3年	頼杏坪	23.3×15.7	罨紙(楮紙)	6	後補薄茶表紙, 奥書「天明三年癸卯秋九月芸陽頼惟柔稿」, 句切点(朱), 校訂(墨), 裏表紙見返(異筆)「山本書店主所贈 昭和甲辰五月廿二日」, 虫損大	Ⅲ-47
28	弁大学定本	袋綴装 大和綴	1冊	江戸後期	(頼杏坪)	24.5×17.5	罨紙(楮紙)	17	後補素紙表紙(頼古椽筆)「杏坪翁 弁大学定本 草稿」, 朱文長方印「頼氏必正楼」1顆, 首題「弁大学定本」, 校訂(墨, 付紙に墨), 注記(墨), 句切点(墨), 罨紙版心「春草堂藏」	Ⅲ-45
29	自選唐桃集								後補表紙にてⅢ-50-1~2を合冊, 後補厚紙表紙(頼古椽筆)「杏坪翁著 芻羅桃集 上下合冊」, 朱文長方印「頼氏必正楼」1顆	Ⅲ-50
29	1) 芻羅桃集 上	袋綴装 大和綴	1冊	江戸後期	(頼杏坪)	18.9×13.0	小半紙(匡郭)	28	素紙表紙, 外題直書「芻羅桃集 上」, 首題「自選唐桃集」, 注記(墨), 虫損大	Ⅲ-50-1
29	2) 自選唐桃集	袋綴装 大和綴	1冊	江戸後期	(頼杏坪)	18.9×13.0	小半紙(匡郭)	29	首題「自選唐桃集」, 注記(墨, 付紙に墨), 虫損・水損あり	Ⅲ-50-2
30	唐桃集 下	仮綴	1綴	江戸後期	(頼杏坪)	14.5×21.5	三桮紙	33	首題「唐桃集 下」, 校訂(墨), 頭点(朱), 綴じ外れ	Ⅲ-51
31	「芻羅桃集」草稿	状	4通	江戸後期	(頼杏坪)	15.9×22.5	杉原紙		校訂(墨), 注記(墨), 頭点(朱), 紙袋(28.0×19.5, 楮紙) 付属, 紙袋墨書(頼古椽筆)「巻物用 景樹宗閑斐雄」, 虫損甚	Ⅲ-339-12
	厳島(年籠)記行								I-122-1~2を合綴	I-122
32	1) 厳島記行	袋綴装 大和綴	1冊	明和4年	頼惟清	25.0×17.4	半紙	12	共紙表紙, 外題直書「厳島記行」, 奥書「笠井某の唐歌やほくをものし給ひし厳島の紀行を見せられければ, 是にさそはれて, 予も彼地にてよみ捨し, 腰もつゝかぬことのはを, なんぞ御かみしき筆に, きよめかむむにあらす, 思い出せしまゝあと先となくかくなむ侍る物ならん(六文字墨抹), あきらかにやはらく四つの年みなつきすえつかた 頼氏惟清」, 校訂(墨)	I-122-1
32	2) 厳島年籠記行	袋綴装 大和綴	1冊	明和4年	頼惟清	25.0×17.4	半紙	13	共紙表紙, 外題直書「厳島年籠記行」	I-122-2
33	高角まうて	袋綴装 大和綴	1冊	(安永6年)	頼惟清	24.6×17.3	半紙	16	共紙表紙, 外題直書「高角まうて」, 表紙墨書「小沢翁の点也, 別に御浄写の一卷あり」, 校訂(墨・朱), 注記(朱), 合点(朱)	I-123-1
34	高角まうて	袋綴装 大和綴	1冊	(安永6年)	頼惟清	24.8×17.3	半紙	15	共紙表紙, 外題直書「高角まうて」, 奥書「惟清」	I-123-2
35	たかつの詣	袋綴装 大和綴	1冊	(安永6年)	頼惟清	24.8×17.3	半紙	15	共紙表紙, 外題直書「たかつの詣」, 奥書「惟清, 時年七十一」	I-123-3
36	芳野紀行并京遊和歌	袋綴装 大和綴	1冊	安永7年	頼惟清	24.0×17.0	半紙	46	共紙表紙, 外題直書「芳野紀行并京遊和歌」, 奥書「惟清, 年七十二」, 校訂(墨)	I-124
37	百首和歌	袋綴装 大和綴	1冊	辰のとし三月十八日	頼惟清	25.0×17.5	半紙	23	共紙表紙, 外題直書「百首和歌」, 首題「辰のとし三月十八日法楽詠百首和歌 頼氏惟清上」, 春20首・夏10首・秋20首・冬10首・恋20首・雑20首	Ⅱ-51
38	独詠	仮綴	1綴	江戸中期	(頼惟清)	25.0×17.2	半紙	40	共紙表紙, 外題直書「独詠」, 端書「いまた上方へのほせ不申うた, そのうちにひきすミ有之へのほせ候」, 校訂(墨), 頭点(朱), 合点(墨)	Ⅱ-52
39	誠軒詩集(嘉永2年~安政4年)	袋綴装 大和綴	1冊	(嘉永2年~ 安政4年)	(頼誠軒)	24.8×17.0	半紙	57	共紙表紙, 外題直書「誠軒詩集」, 首題「誠軒詩集」, 校訂(墨)	Ⅲ-39-1

著述稿本類

番号	名称	材質形状	員数	年代	作成者	法量	料紙	丁数	備考	管理番号
40	誠軒詩集(安政5年～慶応3年)	袋綴装 大和綴	1冊	(安政5年～ 慶応3年)	(頼誠軒)	24.8×17.0	半紙	46	共紙表紙, 外題直書「誠軒詩集」, 首題「誠軒詩集」, 校訂(墨)	Ⅲ-39-2
41	東海遺珠	袋綴装 五ツ目綴	1冊	嘉永7年	頼誠軒	22.9×16.9	半紙	17	茶表紙, 外題直書「東海遺珠」, 奥書「嘉永甲寅夏四月孫杲拝写」, 朱文長方印「頼氏必正楼」1顆, 句切点(朱)	Ⅳ-250
42	日本楽府	袋綴装 大和綴	1冊	江戸後期	(頼誠軒カ)	24.3×17.0	美濃紙	17	共紙表紙, 外題直書「日本楽府 全」, 首題「日本楽府」, 表紙墨書「ともしひを高くかゝけて和田海の底まで照す君か御代かな」, 裏表紙「天外三駒年所有」, 書写奥書「戊子嘉平月二十八日 山陽外史頼襄識」, 朱文方印「[]」1顆, 校訂(墨)	Ⅳ-248
43	山陽先生詩稿	袋綴装 大和綴	1冊	江戸後期	(頼誠軒カ)	24.5×16.5	美濃紙	53	共紙表紙, 外題直書「山陽先生詩稿 全」, 朱文方印「頼氏必正楼」1顆, 批正(朱・墨), 校訂(朱・墨), 注記(朱・墨), 句切点(朱・墨), 仮名(朱・墨)	Ⅳ-249
44	東海遺珠	袋綴装 五ツ目綴	1冊	江戸後期	(頼誠軒カ)	17.3×11.8	薄葉	58	薄茶表紙, 外題題簽「東海遺珠」, 朱文長方印「頼」1顆, 批正(朱), 校訂(朱), 注記(朱), 句切点(朱), 傍点(朱)	Ⅳ-251
45	東遊詩草	袋綴装 大和綴	1冊	江戸後期	(頼養堂カ)	24.5×17.0	罫紙(半紙)	11	素紙表紙, 首題「東遊詩草」, 校訂(墨)	Ⅲ-40
46	西遊詩草	仮綴	1綴	甲午(天保5年カ) 二月	(頼立齋カ)	24.4×17.0	罫紙(半紙)	8		Ⅲ-42
47	古楳詩集	袋綴装 四ツ目綴	1冊	辛丑(明治34年) ～六十四回春 撒豆	頼古楳	18.0×13.0	罫紙(楮紙)	188	茶表紙, 外題題簽「古楳詩集」, 首題「古楳詩集」, 校訂(朱・墨), 171・172丁目間に「高 於菟三詩稿」(明治壬子七月)3枚挿込	Ⅲ-385-1
48	蘭蕙集 卷一	袋綴装 四ツ目綴	1冊	昭和初期	頼元孚(古楳), 頼成一	23.3×15.7	罫紙 (機械漉紙)	103	茶表紙, 外題直書「蘭蕙集 卷一」, 表紙墨書「頼元孚 輯」, 注記(墨, 付紙に墨), 罫紙は「神田宮田製」株式会社中国銀行「頼山陽先生遺蹟顕彰会」, 「成一拝識」との記載あり(版心記載番号六十ウ), 原稿用紙・新聞切抜「史談 故人と遺墨 勤王の儒者 頼聿庵(一)～(三)」, 「山陽記念碑一尾道に建設の議一」ほか貼紙・挟込紙多数(墨書・ペン書あり)	Ⅳ-166-1
49	蘭蕙集 卷二	袋綴装 四ツ目綴	1冊	昭和初期	頼元孚(古楳), 頼成一	23.3×15.7	罫紙 (機械漉紙)	95	茶表紙, 外題直書「蘭蕙集 卷二」, 表紙墨書「頼元孚 輯」, 校訂(墨), 注記(墨), 仮名(墨), 見返しに肖像画貼付, 「昭和五年十一月廿三日, 家君ニハ山口県宇部市へ御出向遊サレ常盤通一丁目川口順克堂ニ御滞在中ノコトナリキ」との記載あり(版心記載番号卅八ウ), 罫紙は「神田宮田製」, 貼紙・挟込紙・綴紐挟込あり	Ⅳ-166-2
50	雑乗	袋綴装 仮綴	1冊	江戸中期	(飯岡義斎)	24.0×16.6	半紙	19	共紙表紙, 外題直書「雑乗」, 校訂(墨・朱), 注記(墨), 句切点(墨), 傍点(朱), Ⅲ-224の草稿	Ⅲ-223
51	筆乗 甲午録	袋綴装 仮綴	1冊	甲午 (安永3年)	源孝欽徳安, 湯孝敬徳明	24.7×17.4	半紙	14	共紙表紙, 外題直書「筆乗 甲午録」, 校訂(墨), 句切点(墨), 返点(墨), 送り仮名(墨), 見返「源孝欽徳安 湯孝敬徳明」	Ⅲ-224
52	壬寅乗(歌稿及び「耄語草」草稿)	横半帳	1冊	壬寅 (天明2年)	(飯岡義斎)	17.2×24.6	杉原紙	14	共紙表紙, 外題直書「壬寅乗」, 校訂(墨・朱), 注記(朱), 懸点(朱), Ⅲ-196-3を含む, 反故紙使用, 2丁目紙背文書「白銀一封 南部屋 忠兵衛」, 3丁目「銀三匁 □ 壱匁」, 7丁目「銀四匁分」, 8丁目「御祝儀 福浜屋 重三郎」, 10丁目「進上 御酒 浜野 作兵衛 武井」, 12丁目「白銀壱封 榎屋 庄八」, 13丁目「銀匁一」, 14丁目「弍朱判一片 成尾屋 次郎兵衛」	Ⅲ-205
53	耄語草	仮綴	1綴	天明 寅(2年) 五月日	(飯岡)義斎	14.0×41.1	楮紙		包紙(23.8×13.1, 半紙)『耄語草』, 封筒(19.0×6.0, 杉原紙)「耄語草」, 校訂(墨), 直井文子「耄語草—飯岡義斎より頼春水へ—」(大口勇次郎編『頼梅颯日記の研究』お茶の水女子大学ジェンダー研究センター頼梅颯日記研究会, 2001年)所収	Ⅲ-196-3
54	夜鶴草	豎半帳	1冊	天明とら(2年) の夏さミたれの夜	澹の翁 (飯岡義斎)	19.1×12.7	楮紙	36	共紙表紙, 外題直書「夜鶴草」, 奥書「天明とらの夏さミたれの夜かきすさミてむすめ 静におくり侍る 澹の翁」, 校訂(墨), 仮名(墨), 東聖子・皆川美恵子「飯岡義斎『夜鶴草』」(大口勇次郎編『頼梅颯日記の研究』)所収	Ⅲ-225

著述稿本類

番号	名称	材質形状	員数	年代	作成者	法量	料紙	丁数	備考	管理番号
55	「左氏摭言」「世説新語補擷英」	袋綴装 大和綴	1冊	江戸中期	孝欽徳安選 (飯岡義斎)	23.6×15.8	罨紙(楮紙)	36	首題「左氏摭言 九華 左孝欽徳安選」「世説新語補擷英 左孝欽選」, 端書『敬亭』, 校訂(墨), 注記(墨・朱), 返点(墨), 仮名(墨), 傍点(朱), 裏表紙(楮紙)あり	III-221
56	聴松庵詩鈔 一之二	袋綴装 大和綴	1冊	(文化元年)	日謙道光	26.4×18.7	美濃紙	33	共紙表紙, 外題直書「聴松庵詩鈔 一之二」, 朱文楕円印「雲州松江 参成」1顆, 菅茶山批正(朱・墨), 校訂(貼紙・付紙に墨), 卷一～二所収, 12丁目オ「二」, 12丁目オ・ウの料紙糊離れ, 22丁目と23丁目の間に校訂の貼紙(墨書あり, 糊離れ)挟込	II-57-1
57	聴松庵詩鈔 二之三	袋綴装 大和綴	1冊	(文化元年)	日謙道光	26.4×18.7	美濃紙	42	共紙表紙, 外題直書「聴松庵詩鈔 二之三」, 朱文楕円印「雲州松江 参成」1顆, 菅茶山批正(朱・墨), 注記(墨), 校訂(貼紙に墨), 卷三～四所収	II-57-2
58	聴松庵詩鈔 五之六	袋綴装 大和綴	1冊	文化元年	日謙道光	26.4×18.7	美濃紙	46	共紙表紙, 外題直書「聴松庵詩鈔 五之六」, 朱文楕円印「雲州松江 参成」1顆, 菅茶山批正(朱), 校訂(墨, 貼紙・付紙に墨), 卷五所収(卷六なし), 45丁目ウの料紙を一部切取りのうえ, 別紙(26.4×4.9, 美濃紙)貼付, 別紙(道光上人筆)「伏乞 郢教 日謙拜」, 同(菅茶山筆)『上人之詩何所容余喙, 余之器何足以攻上人之玉, 而余亦不辞, 上人亦不哂, 所以為莫逆也 文化紀元六月廿五日批於東武小川国邸舍時午風頗涼盆卉枝葉獵々微動 晋帥』	II-57-3
59	孝子行状始末記	袋綴装 四ツ目綴	1冊	(文政11年)	(木原松桂)	26.5×18.7	楮紙	78	香色地に茶の横刷毛目, 外題直書「孝子行状始末記 全」, 表紙右上に白文方印[]1顆, 2丁目(本文1丁目)右上に朱文長方印「如不反斉」1顆, 右下に朱文長方印「清痴居秘笈印」1顆, 仮名(墨), 小口書「孝子行状始末」, 鈴木幸夫「[資料翻刻] 孝子行状始末記」(安田女子大学日本文学会編『安田文芸論叢 研究と資料』第2輯, 2010年)所収	IV-144
60	宋李忠定公奏議選	袋綴装 四ツ目綴	1冊	江戸末期	江木鱒水	22.7×15.8	楮紙	60	薄茶表紙, 外題題簽「宋李忠定公奏議 江木晋戈翁自筆」, 首題「宋李忠定公奏議選」, 表紙貼紙「頼山陽門人江木鱒水手写」, 第1丁オに朱文長方印「瀧川氏図書記」「福山江木氏之章」各1顆, 句切点(墨), 小口書「宋李忠定公奏議」, 原作者は頼山陽	IV-288
61	発蒙十説	袋綴装 仮綴	1綴	江戸後期		28.6×19.6	美濃紙	10	共紙表紙, 外題直書「発蒙十説」, 表紙墨書「尾藤著敷」, 句点(墨), 校正(墨), IV-394-2「中庸首章発蒙図解 附録発蒙十二説」のうち「三近説」「祛蔽説」を除いたものと同内容	IV-388